

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川敏雄	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 52
分水嶺区分:	H239松倉山手前(659m)～502m地点	(3)山行日:	2004年	4月 14日	(4)天候 晴れ

積雪30cm～2m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

横内泰美	10687				
海川敏雄	10981				
清水和男	13007				
計			3名		

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	福島町～松倉川沿いの道路～小股川林道～松倉山手前のP659												
アプローチ:	函館～福島町～松倉川沿いの道路を約2km車で入り、そこから登山を開始し、往復する。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
1 歩行開始点	松倉川左岸の林道	渡島福島	140	12	50	41	30	1	51		8:35		
2 分水嶺到達点	松倉山手前のピーク	渡島福島	140	11	1	41	28	52	659	11:50	12:30		(9)1
4 分水嶺離別点	鞍部502m地点	渡島福島	140	10	59	41	29	14	503	12:53	12:58		(9)2
5 歩行終了点	松倉川左岸の林道	渡島福島	140	12	50	41	30	1	51	15:00			
総歩行時間(休憩時間を除く):											5時間20分		
分水嶺距離											約1.25km	全距離 約1.7km	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点


(9)水および植生に関連した特記事項

1	稜線沿いに笹・シナノキが見られる。
2	ダケカンバ・ブナ等が多い。

(10)その他の特記事項

3	松倉山の本峰を目指したが、到達点のP659m峰と本峰との間の雪が溶けて藪が現れており、藪こぎの苦労が予想されたので、取りやめた。(到達点はP659である。)
4	快晴に恵まれ、P659からの眺めは素晴らしく、北方に袴腰・前千軒・大千軒～七つ岳と続く真っ白な山並みは圧巻だった。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	